

沖縄FITZと中継貿易の展望

高良 守

▷10◁

仮に香港が中国化する
ことなしに従前のビジネス
ス地としての機能を五十
年間維持するとしても沖
縄の地理的な比較優位性
は現状となら変わらな
い。

台湾—中国間の貿易に
関して運航日数では現状
の台湾—香港—上海—ア
モイ間が三—四週間かか
るのに対し、沖縄を中継
地とする台湾—石垣—上
海—アモイ間になると二
日間で済む。

ところで、現在行われ
ている花き等の本土への
輸送を図1のようにする
ことにより相当なコスト
低減が図られる。

沖縄からの理想的な輸
送ルートは台北から外航
機をカラの状態で引っ張
ってきて沖縄で貨物を積
んだ後に、いったん台北

(諸外国どこでもいい)
へ輸出し、そこから成田
(本土)へ輸送するやり
方である。

そこで重要なことは台
北から成田への輸送は必
ず無為替輸出手続きをす
ることである。距離的に
はチャーター便を台湾か
ら沖縄にカラの状態で行
つ張ってきて沖縄で貨物
を積んだ後、そのまま本
土へ輸送するのが理想的
だが、航空協定(内航機
保護)のため、そのまま
羽田へ向かうことはでき
ない。

そこで、いったん外国
(国外ならどこかの空港で
もよい)へ輸出してそれ
から本土へ輸送(輸入)
する形になる。それでも
内航機との運賃の比較に
おいてコストはかなり安
くなる。さらに、無為替

輸出手続きにより通関が
スムーズに行え、貨物の
引き取りも速く、関税も
かかることはない。
台湾や東南アジアから
の直航便は海上輸送(S

ea & Air)なら市
場に一番近い空港や港ま
で輸送することができ、
さらに輸入手続きもスム
ーズに行うことができ
る。その上、支払い関税
も抑えることができ、そ
の日のうちで本土市場ま
で輸送することが可能で
ある。

つまり、東南アジアや
台湾から成田空港・神戸
港間は一週間程度、東南
アジアや台湾から沖縄経
由で成田空港・神戸港は
二、三日程度になり沖縄
に比較優位性がある。

中継貿易のメリット
沖縄を拠点にする中継
貿易または中継加工貿易
をするメリットとして①
CIF大阪(ないしは福

空輸(Air)の場合で
も輸入手続きのため貨物
を引き取るのに一週間程
度はかかる。
沖縄を中継とする(S

沖縄の地理的優位は不変

輸送工夫しコスト低減を

ea & Air)なら市
場に一番近い空港や港ま
で輸送することができ、
さらに輸入手続きもスム
ーズに行うことができ
る。その上、支払い関税
も抑えることができ、そ
の日のうちで本土市場ま
で輸送することが可能で
ある。

つまり、東南アジアや
台湾から成田空港・神戸
港間は一週間程度、東南
アジアや台湾から沖縄経
由で成田空港・神戸港は
二、三日程度になり沖縄
に比較優位性がある。

中継貿易のメリット
沖縄を拠点にする中継
貿易または中継加工貿易
をするメリットとして①
CIF大阪(ないしは福

空輸(Air)の場合で
も輸入手続きのため貨物
を引き取るのに一週間程
度はかかる。
沖縄を中継とする(S

CIF(Cost In
surance Frei
ght)は運賃と保険料
込み条件の価格の略で、
関税においては輸入され
る商品のコスト、輸送費、
保険料について課せられ
る。そのうち輸送費につ
いてはその商品の輸入港

・空港まで海上輸送また
は航空輸送のためコスト
を抑えることができる。
つまり、トラック輸送の
低減をはかることができ
る。

③CIF大阪よりCI
F那覇の場合、輸入通関
手続きがタイムリーに速
く終わる、モノ(特に生鮮
食料品)の痛みも少なく

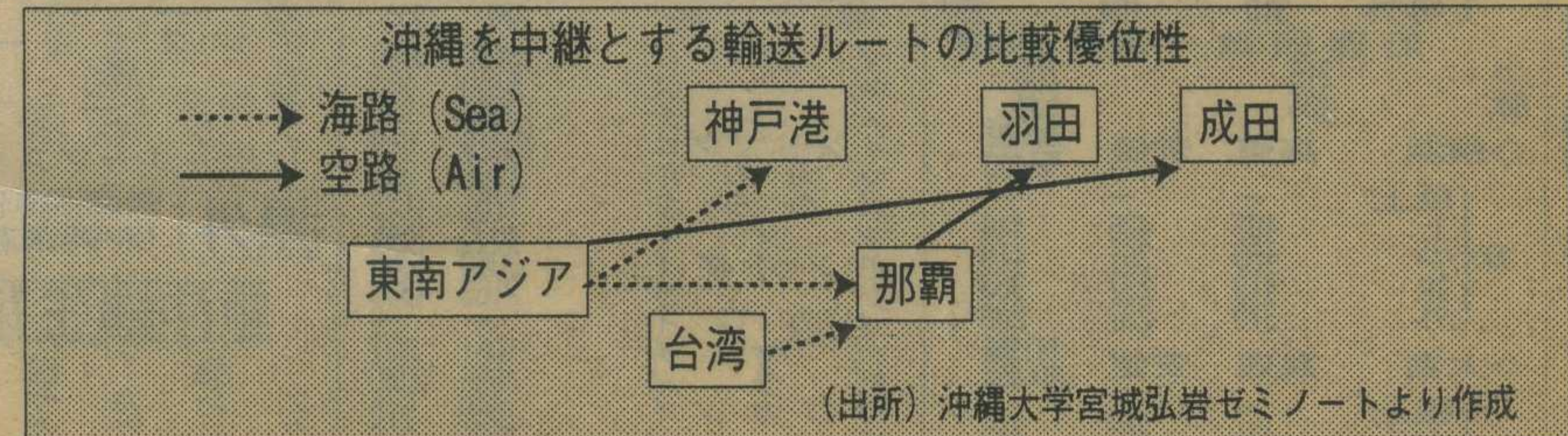
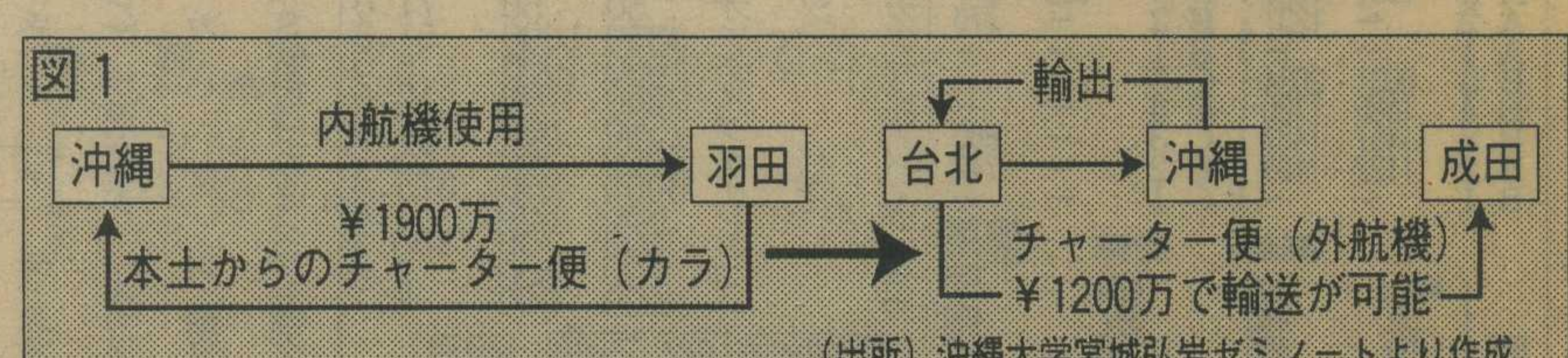
度ばかり、Seaなら沖
(琉大大学院学生)

・大阪間(NT\$45/キ
ロ)が関税対象となり、
その差額25%分、関税が
安くなる。
②CIF大阪の場合、
東京から各地に発送する
には流通経路が長く、さ
らに陸送(トラック輸送)
のためコスト高になりや
すい。これが那覇から各
地へというルートだと沖
縄から市場に一番近い港

・空港まで海上輸送また
は航空輸送のためコスト
を抑えることができる。
つまり、トラック輸送の
低減をはかることができ
る。

③CIF大阪よりCI
F那覇の場合、輸入通関
手続きがタイムリーに速
く終わる、モノ(特に生鮮
食料品)の痛みも少なく

度ばかり、Seaなら沖
(琉大大学院学生)



鮮度保持が可能である
(国内流通の迅速化)。東
京・名古屋・大阪だと混
雑のため、ピコなら通
関手続きのため一週間程
度ばかり、Seaなら沖
(琉大大学院学生)